

Press Release

Mar 18, 2022 | ID: 22-P018

ボルボ C40 Recharge にエントリーモデルを追加

- ・ シングルモーターモデルを加え、ラインナップを拡充。600 万円を切る価格を実現
- ・ 4 月 21 日よりオンラインストアで予約注文開始、デリバリーは 2022 年秋を予定
- ・ ツインモーターモデルにインテリア仕様を追加。装備設定を見直し、新価格を適用

ボルボ・カー・ジャパン株式会社(代表取締役: マーティン・パーソン、本社: 東京都港区)は、電気自動車のボルボ C40 Recharge のラインナップに、シングルモーターの前輪駆動モデルを追加するとともに、一部仕様を変更し、4 月 21 日よりオンラインストアでの販売を開始します。なお、今回発表する仕様のお客様へのデリバリーは、本年秋の予定です。

ボルボ C40 Recharge は 2021 年 11 月に国内発表されたボルボが初めて日本国内で販売する電気自動車で、クーペと SUV が融合したスタイリッシュなクロスオーバーのデザインや、完全なレザー(本革)フリーインテリア、リサイクル素材の積極的な採用を特徴としています。日本導入を記念し、100 台限定のサブスクリプション・キャンペーンを実施し、販売予定台数の約 6 倍の申し込みを獲得するなど、大きな注目を集めています。

今回の仕様変更は、幅広いお客様のご要望に応えるため、前輪駆動のシングルモーターモデル「C40 Recharge Plus Single Motor」をラインナップに加えました。容量 69kW の駆動用リチウムイオンバッテリーによって前輪に設置されたモーターを駆動し、EV 走行距離は 434km※(欧州 WLTP モード)に達します。メーカー希望小売価格は 5,990,000 円とし、よりお求めやすい価格を実現しました。

全輪駆動のツインモーターモデルはモデル名を「C40 Recharge Ultimate Twin Motor」へ変更し、従来標準装備としていたピクセルLEDヘッドライトがオプション装備となり、メーカー希望小売価格は 6,990,000 円へ変更されました。ツインモーターモデルには、新たにオレフォス社製クリスタル・シフトノブが装着されるテイラードウールブレンドシートの内装仕様がオプションとして追加設定されました。

さらに、C40 Recharge 全車のルーフピラーおよびルーフスポイラーについて、ボディカラーとの同色化が図られるとともに、ボディカラーにオニキスブラックメタリックが追加されました。

ボルボ・カーズでは 2030 年までに新車販売の 100%を電気自動車にすることを目標としており、日本においても 2025 年に新車販売の 40%、10,000 台の電気自動車を販売する計画です。C40 Recharge のモデルラインナップ拡充は、日本国内における電気自動車の販売拡大の戦略に沿ったものです。

※C40 Recharge Plus 日本仕様の一充電走行距離は未定です

メーカー希望小売価格は以下の通りです。

■ボルボ C40 Recharge 希望小売価格

モデル名	電動機(モーター)	駆動用バッテリー容量	メーカー希望小売価格 (消費税込み)
C40 Recharge Ultimate Twin Motor	最高出力 300kW(408ps) 最大トルク 660Nm(67.3kgm)	78kW	6,990,000 円
C40 Recharge Plus Single Motor	最高出力 170kW(231ps) 最大トルク 330Nm(33.7kgm)	69kW	5,990,000 円

※駆動用バッテリーは急速充電: 150kW(CHAdemo)まで対応、普通充電: 9.6kW(AC200V の場合)まで対応しています。

※C40 Recharge Plus Single Motor の電動機出力値は参考情報となります。

*メインカットの外観写真は、左奥が C40 Recharge Plus Single Motor、右手前が C40 Recharge Ultimate Twin Motor です

報道関係お問合せ先

ボルボ・カー・ジャパン 広報
vcjpr@volvocars.com

Related Images



[More Images >](#)